

げげげ！セツナ！妖魔狩りのセツナあ！
半分妖魔の癖に人間に肩入れする忌々しいやつ！
今日こそ刻んで犯してやらあ！

どきなさい、貴方たち下級妖魔では話にならない。
これまでの戦いで分かっているハズです。

相変わらずの威勢だなあ、セツナ。
さすがは未来の俺の嫁だぜ。



あ、くう……！離しなさい！
この程度の触手なんて……
う、くあああっ!?

止めとけ、今のお前が出力できる妖力は下級妖魔以下……
って、見りゃ分かるだろ？
実際、下級妖魔の触手にすら抵抗出来てねえしな。

くっ……私を、どうする気ですか？

いつも言ってるだろ、お前は俺の嫁にする。
古の大妖魔の血を引くお前こそ、
妖魔のトップが娶るに相応しい牝だ。

いや！こんな恰好……っ！や、止めなさいガザード！
何をするつもりですか!?

当然、お前の処女を頂くのよ。

なっ……!?ふ、ふざけないで！
誰が貴方たちなどに……!



い、いや、嘘、やめなさいガザード!
や、やめ……くあつ!? う、うあああつ!?

いやあつ! き、気持ち、悪い……!!
ダメ、ぬ、抜いて! 抜いてえつ!

おいおい、そんなんでピーピー言ってたら、俺の嫁は務まんねえぞ?
いずれ俺のチンポを毎日啜え込むことになるんだからなあ。

あっ!?ぐう……!針が、いい痛い……!!
はあ、はあ……!!そ、そんな、乳首の奥、までえ……!?

まずは搾り取りやすいように、
お前の肉からだ体を作り変えるところからだな。
蛇口はでけえ方がいい。



は、ぐう、うう……! な、何を、注^い入^れれてる、の……!?
んあ、あああ……!?

(無理やり乳首こじ開けられて、
生暖かいモノが……流れ込んで、くるう……!
う、あ、な、何か、胸が、おかしい……!?)



ああ、はあ……っ!? しよ、触手が、胸を……!
やめ、そんなに、締めつけない、でえ……!!
ひ、ああああっ!?

はあ、はあっ! んあああっ……!
い、いや、何……? 何か、来る……!
の、昇って、乳首、昇って、来るうううっ!?



んああああっ!?で、出る、お乳が、で、出ちゃうううっ!?
と、止まらな、いいいいっ!?

おうおう、よしよし、上手い事絞り出せてるな。
その調子で頼むぜ、セツナ。





セツナに襲い来るさらなる淫劇は本編で…！